

このまちの100年

「防府」

防府は奈良時代、周防国の中心として国府や国分寺が置かれた歴史のある場所です。明治35年に合併で防府町が誕生します。『防府』が行政地名となるのはこの時が最初ですが、古くから一帯の通称地名として使われていました。



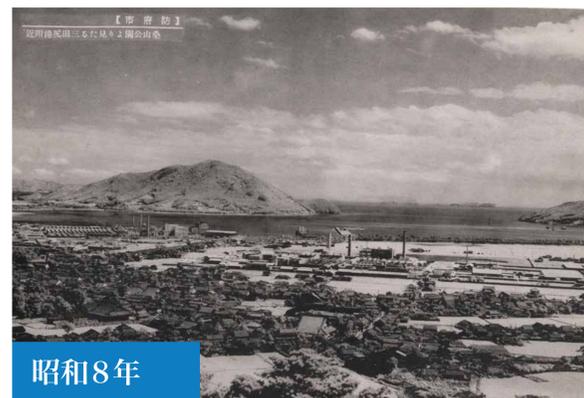
大正期

菅原道真が没した翌年の延喜2年に創建されたとされる防府天満宮



大正期

佐波郡防府町時代の町役場。昭和11年に市制を施行して、防府市となった



昭和8年

昭和8年4月、三田尻港の改修工事の起工式が行われた



昭和10年頃

明治31年に開業した山陽本線の三田尻駅。昭和37年に防府駅に改称



昭和10年頃

三田尻(現在の防府市南部)では塩の製造が盛んだった



昭和34年頃

三田尻港周辺では江戸期より製塩が盛んであったが、昭和初期以降、工業地として発展した

上空からみた防府エリア



昭和22年



昭和50年



平成22年

✉ : 現在地
● : 山口県立高等女学校/山口県立中央病院/ゆめタウン防府 ● : 三田尻駅/防府駅

出典: 国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集: 株式会社コロモチ